CASIO

P

3109*JA

取扱説明書

3109

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz
精　　度: 平均月差±30秒以内
基 本 機 能: 時・分・秒、午前(A)／午後(P)／24時間制表示、年・月・日・曜日、フルオートカレンダー(2000～2099年)、サマータイム設定機能
データバンク機能: 名前(8文字)と電話番号(12桁)を最大25件メモリー、自動ソート、データ残り件数表示
ワールドタイム機能: 世界30都市(29タイムゾーン)の時刻を表示、サマータイム設定機能
デイカウンター機能: タイトル(8文字)と年月日を5件メモリー
今日から設定日までの日数を表示
設定範囲＝1950年1月1日～2049年12月31日
「月日」一致報知機能
アラーム機能: 時刻アラーム 5本　セット単位＝分　電子音＝10秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時
ストップウオッチ機能: 計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
タイマー機能: 計測単位＝1秒　セット単位＝1分～24時間
そ の 他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切替え、
EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、操作音ON／OFF切替え
主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子　ワンチップCMOS-LSI
使 用 電 池: CR1616　1個(電池別途販売)
電 池 寿 命: 約3年
(1日あたりライト1回(2秒間)、電子音を10秒間使用した場合)

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

⃠記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

⚠警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

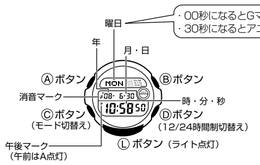
データ控えを作ってください

記憶させた内容は、ノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



操作のしくみと表示の見方　Ⓒボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード



＜曜日の見方＞
SUN：日
MON：月
TUE：火
WED：水
THR：木
FRI：金
SAT：土

★12/24時間制表示切替えについて
時刻モードで、Ⓓボタンを押すごとに、12時間制表示(午前"A"／午後"P")と24時間制表示とが切り替わります。

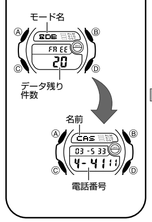
★表示切替えについて
時刻モードのとき、Ⓐボタンを押すと、現在設定されているホームタイム都市が表示されます。

タイマーモード



※データバンクモード、デイカウンターモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

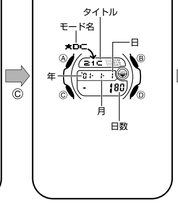
データバンクモード



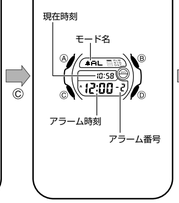
ワールドタイムモード



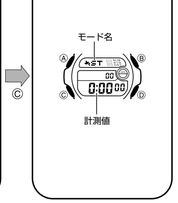
デイカウンターモード



アラームモード

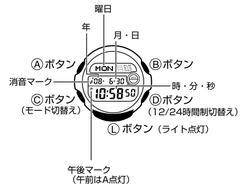


ストップウオッチモード



時刻・カレンダーの合わせ方　電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■ 時刻・カレンダーのセット



1. セット状態にする
Ⓒボタンを押します
➡「秒」が点滅します。

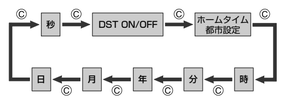
2. 「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正
時報に合わせてⒹボタンを押します
➡「00秒」からスタートします。
※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。

3. サマータイム(DST)*のON／OFFを選ぶ
Ⓒボタンを押します
➡DSTマークと"ON"または"OF"が点滅します。
Ⓓボタンを押します
➡"ON"または"OF"が切り替わります。
※ "OF"＝サマータイムOFF(通常時間)
"ON"＝サマータイムON(夏時間)
※ サマータイムをONにすると通常の時刻より1時間早まります。
※ サマータイムをONにすると時刻モード、デイカウンターモード、アラームモードでDSTマークが点灯します。

＊サマータイムとはDST(Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。

4. ホームタイム都市を選ぶ
Ⓒボタンを押します
➡都市コードが点滅します。
ⒹまたはⒷボタンを押します
➡ⒹまたはⒷボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。(「都市コード一覧」参照)
※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

5. 「時刻・カレンダー」合わせ
a. Ⓒボタンを押します
➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. ⒹまたはⒷボタンを押します
➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑボタンとも、押し続けると早送りします。

a.～b.の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)、または24時間制にご注意ください。
※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

6. セットを終わる
Ⓐボタンを押します
➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓛボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。

※ 時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてアニメが表示されます(4種類)。ただし、セット中(表示点滅)はアニメ表示を行ないません。

＜ご注意＞
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にⓁボタン以外のボタンを押したり、アラームなどが鳴ると発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

■ 操作音のON／OFF設定

セット中(表示点滅)以外のどのモードのときでも
Ⓒボタンを約3秒間押し続けます
➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。

※ 操作音をOFFにしているときは、マークが点灯します。

※ 操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

データバンク機能の使い方

Ⓒ ボタンを押して、データバンクモードにします。

データバンクモードでは、名前（8 文字）と電話番号（12 桁）のデータを最大 25 件メモリーできます。
データバンクモードに切り替えると、モード名（DB）とデータ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

※ データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行なわれます。
*自動ソート… 記憶されたデータは名前の先頭から比較し、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（.、－）の順で自動的に整理されます。

■ データを見る

データバンクモードのとき、Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとにデータが順番に進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ 名前が 4 文字以上のときは、右から左に流れて表示されます（タイトルの最後に「◀」マークがつきます）。

■ データを入力（修正）する

1. 空きページ（修正ページ）を選ぶ

データバンクモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、空きページ（修正ページ）を表示させます

※ データがすでに 25 件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください（「データを消去する」参照）。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます ➡ 名前部の 1 桁目が点滅します。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部 1 桁目～ 8 桁目→電話番号部 1 桁目～ 12 桁目→名前部 1 桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。

3.～4. の操作を繰り返して、データを入力していきます。

※ 名前は最大 8 文字、電話番号は最大 12 桁まで入力できます。
※ 入力できる文字は、名前部セットのときは（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（.、－）で、電話番号部セットのときは－、0～9、（空白）です。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します ➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ データを消去する

1. **Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して消去したいページを選びます**

2. **Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます** ➡ 名前部の 1 桁目が点滅します。

3. **Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押します**

➡ "CLR" 表示後、データが 1 件消去されます。
※ このとき引き続き他のデータを入力することができます。

4. 消去が終わりましたら、**Ⓐ ボタンを押します**

ワールドタイムの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 30 都市（29 タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。
※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

時刻モードで基本時刻およびホームタイム都市をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。
*「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。
※ ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ 基本時刻を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に 24 時間制で表示されます。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

■ サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの ON ／ OFF 設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡ Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けることにサマータイムの ON／OFF が切り替わります。
※ サマータイムが ON のときは、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間早まります。
※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。

■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	－11	パゴパゴ	RAI	－1	プライア	DEL	+5.5	デリー
HNL	－10	ホノルル	LON	+0	ロンドン	DAC	+6	ダッカ
ANC	－9	アンカレジ	PAR	+1	パリ	RGN	+6.5	ヤンゴン
LAX	－8	ロサンゼルス	CAI	+2	カイロ	BKK	+7	バンコク
DEN	－7	デンバー	JRS	+2	エルサレム	HKG	+8	香港
CHI	－6	シカゴ	JED	+3	ジェッダ	TYO	+9	東京
NYC	－5	ニューヨーク	THR	+3.5	テヘラン	ADL	+9.5	アデレード
CCS	－4	カラカス	DXB	+4	ドバイ	SYD	+10	シドニー
YYT	－3.5	セントジョーンズ	KBL	+4.5	カブール	NOU	+11	ヌーメア
RIO	－3	リオデジャネイロ	KHI	+5	カラチ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2007年6月現在作成のものです。
※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

デイカウンター機能の使い方

Ⓒ ボタンを押して、デイカウンターモードにします。

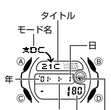
デイカウンターモードでは、タイトル（8 文字）と年月日を 5 件メモリーでき、自動的に今日からの日数をカウントして表示します。
デイカウンターモードに切り替えると、モード名（DC）を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

● 未来の予定日などを設定…今日からの残日数を表示
● 過去の記念日などを設定…今日までの経過日数を－（マイナス）で表示

※ 工場出荷時は、タイトルなし、2001 年 1 月 1 日で 5 件ともメモリーされています。

■ メモリーを見る

デイカウンターモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとにデータが順番に進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ タイトルが 4 文字以上のときは、右から左に流れて表示されます（タイトルの最後に「◀」マークがつきます）。

■ タイトル、設定日のセット

1. セットしたいページを選びます

デイカウンターモードのとき、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して、セットしたいページを選びます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➡ タイトルの 1 桁目が点滅します。

3. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

4. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「タイトル 1 桁目～8 桁目→年→月→日→タイトル 1 桁目…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
※ 押し続けると点滅箇所が早く移動します。
※ 表示が点滅しているときに Ⓓ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押すと、タイトルが消去（CLR 表示）されて、今日の日付がセットされます。

3.～4. の操作を繰り返して、タイトル、設定日をセットします。

※ タイトルは最大 8 文字まで入力できます。入力できる文字は（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（.、－）です。
※「年」は 1950～2049 年までセットできます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 設定した「月日」になると

時刻モードのカレンダーと設定した「月日」が一致すると、時刻モード、デイカウンターモードの該当ページで DAYS マークが点滅して知らせてくれます。

アラーム・時報の使い方

Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが 5 本あります。設定した時刻になると 10 秒間電子音が鳴ります。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

1. アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します



➡「アラーム 1 →2→3→4→5→時報→アラーム 1 …」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。
※ アラーム ON マークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

3.～4. の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。
※ 基本時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

5. セットを終わる

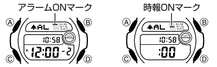
Ⓐ ボタンを押します ➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すごとに、アラーム ON マークまたは時報 ON マークが点灯／消灯を繰り返します。
※ それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



★ 計測中に Ⓑ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（SPL 表示）。
★ 計測終了後 Ⓑ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット

<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓑ リセット
（Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 の間：スプリットタイム表示）

●1・2 着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓑ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

タイマーの使い方

Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマーは 1 分単位で 24 時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると、10 秒間電子音が鳴ります。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます



➡「時」が点滅します。

2. 「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ 1 分単位で 24 時間までセットできます。
※ タイマー時間を 24 時間に設定するときは、表示を "0：00" にします。

3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します ➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します ➡ 点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき **Ⓓ ボタンを押します**



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※ 計測は 1 秒単位で行ないます。

★ 計測ストップ後 Ⓑ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3 年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げ店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してご使用ください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移ったり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

● 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取ってください。また、時計の裏蓋の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
● バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

● 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

● 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

■データ保護について

● 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

● ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
● 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
● バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉
● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
※ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉
● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉
● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有償となります）。

■最初の電池

● お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
● お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。